

Q 11月の町長選挙に立候補する 意思は

A まずは任期を全うし、改選までの 5か月間で考えていく



佐藤定男議員

今も除染作業は
続けられている



かりと作っていくことも太田町長には求められていると思う。
11月に行われる町長選挙に立候補の意思はあるか。

町長

5つの目標を掲げ進めてきた

の中で全力で一生懸命やってきましたということ
は明言する。

今後は、町民の皆様
にさらに協力をいただ
きながら少しでも修正
すべく鋭意対応してい
きたい。

が、まだ道半ばの部分もある。今後さらに復興再生の光が大きくなるよう、また、国見町が持続可能性のある発展を遂げていくためにも、オール国見の体制で交流連携の輪を広げ、将来の町の基盤作りに取り組んでいくことは、私のみならず、すべての皆様の課題と認識している。

まずは残された任期に全力を尽くし、改選まで5カ月あることから、町民や後援会などの意向を確認しながら最終的に結論を出したい。

問

国見町の復興
とともにさらなる発展を目指し、町は

「歴史まちづくり」と「道の駅開業」に取り組んでいる。この2つの事業はまさに国見の未来が懸かっている。これらの土台をしつ

でないのは除染問題だったと思う。太田町長は、いち早く復旧復興町民会議を立ち上げ「国見の未来をみんなで作っていきましょう」を合言葉に大きな成果をあげてきた。役場庁舎が完成し、観月台文化センターも本来の役割を取り戻し、復興を実感できるようになってきた。実績とは別に何か反省点はあるか。

町長

東日本大震災からの復興の状況が、私の思いと若干かけ離れていたことが一つの反省点と思っている。私自身が県の公務員としてこれまで培ってきた経験からいけば、思い通りにいかないことも多かった。一步一步なんとかやってこられたが、なかなかスピーディーにできなかった。

しかし、能力の限界

任した。今日まで全身全霊でやってきた。

就任以来、「オール国見」の精神と「復興、絆、国見の未来をみんなで作っていきましょう」のスローガンのもと、5つの目標を最重要課題とし、町民の皆様への元気を取り戻してもらいたいという思いで元気活力事業などに取り組んできた。

ふるさと国見のために、任期を全力で全うすることが今の重要な課題と考え、しっかりと対応していきたい。

問

町長就任時、一番対策が進ん

問 町長就任後3
年半が経過し
た。就任当初から東日本大震災後のかじ取り
ということで大変なプレッシャーとご苦労も
あったかと思う。改めて振り返ってどのよう
な思いか。

町長

東日本大震災
発生時には、私

は日赤福島県支部の事務局長の職にあり県全体の復旧復興に当たっていた。町長選挙に際し、国見町内の各層から立候補の要請を受け、熟慮の末に、ふるさと国見の復旧復興に少しでも役に立てればと就

Q 結婚世話やき人事業に期待

A 少子化対策や定住促進の要になる

問 結婚世話やき人の募集や人選は、どのように進めていくのか。

交流も図りたい。この事業は、少子化対策や定住促進に向けた取り組みの要になると考えている。

町長

今年度、ボランティアとして10人程度登録する予定である。

問

この事業で結婚が成立した場合、以前行われていた報奨金などは考えているか。

活動にあたり研修会などを実施し、県の世話やき人制度と連携して広域的な情報交換や

保健福祉課長

「結婚世話やき人」

は、アドバイスや出会のきつかけづくりを目的とした制度。結婚に結び付くのが何よりだが、そこまで負担をかけずに活動してほしい。報奨金は、今後の活動の状況を十分見極め検討したい。

問

若者だけでなく、結婚を希望する40代、50代の方々も取り上げていくべきではないか。

保健福祉課長

活動対象の独身者に年齢制限はない。結婚を希望する方はどなたでも対象となる。

結婚世話やき人説明会には約50人が参加した



加工施設で町の食文化の掘り起こしを

問

旧森江野季節保育所を改修し農産物加工施設が設置される。農家のお母さん方が中心に携わると思うが、業者の協力も必要ではないか。

まちづくり交流課長

道の駅製造部門での活用も想定しているが、一般業者には利用を控えてもらい、民間のお母さんたちに主力になって

使ってほしいと考えている。

問

施設で加工・開発された品物を試食するコーナーの併設は考えているか。また、年数回イベントの開催計画はあるか。

まちづくり交流課長

6次化商品の製造・販売を目的に、県の保健所の指導のもとで設置する施設であり、加工施設内での試食会などの開催は可能に近い。加工施設以外の森江野町民センターの施設を活用しての試食・試飲会、小規模のイベントなどは実施を検討している。

問

民族研究家の結城登美雄氏が国見の食文化の掘り起こしで何度か来町しているが、今後も事業にご協力いただけるのか。

まちづくり交流課長

国見のもの」を再発見し、発信させ、発信している。今後ともしっかりと施設を立ち上げ、産業全体の振興に結び付けていきたい。

町長

6次化は、町の重要な課題の一つであり、風評被害の払拭にもつながる。農商工連携の意味で町全体の産業が回ると考えており、施設はそのベースになると認識している。今後ともしっかりと施設を立ち上げ、産業全体の振興に結び付けていきたい。



村上 一議員